



## 2026年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2026年4月8日

上場会社名 メディアファイブ株式会社  
コード番号 3824 URL <https://www.media5.co.jp/>

上場取引所 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河野 活  
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 川上 隆幸

TEL 092-762-0555

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年5月期第3四半期の業績(2025年6月1日～2026年2月28日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期第3四半期	1,344	4.0	73	159.0	75	18.4	48	12.9
2025年5月期第3四半期	1,293		28		63		55	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年5月期第3四半期	51.78	
2025年5月期第3四半期	59.47	

(注) 当社は、2025年5月期第3四半期から非連結での業績を開示しております。  
そのため、2025年5月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2026年5月期第3四半期	687		417		60.7
2025年5月期	700		373		53.3

(参考) 自己資本 2026年5月期第3四半期 417百万円 2025年5月期 373百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年5月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年5月期		0.00		5.00	5.00
2026年5月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年5月期の業績予想(2025年6月1日～2026年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,783	3.7	36	1.4	34	51.6	18	69.7	19.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年5月期3Q	986,000 株	2025年5月期	986,000 株
期末自己株式数	2026年5月期3Q	46,000 株	2025年5月期	46,000 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年5月期3Q	940,000 株	2025年5月期3Q	940,000 株

添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要により、国内景気は引き続き緩やかな回復傾向で推移しております。一方で、世界的な物価上昇、金融資本市場の変動、アメリカの通商政策の影響等により、経済活動に影響を与える要因が残っており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の属する情報サービス業界においては、企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）に対する投資需要は継続しており、社会全体としてIT活用の流れが一層増加し、慢性的にIT人材が不足している状況にあります。

このような環境の中、当社では、2024年3月に東京支店を銀座から秋葉原へ移転し、ITエンジニア育成研修の拡大を目指し、「アキバ・テックドリーム・アカデミー」を開校、未経験者や新規学卒者を積極的に採用し、育成に注力しております。また、技術力の向上、ワークライフバランスの向上を図ることで、優秀な人材の囲い込みを図っております。加えて子育て世代の両立支援をはじめ、誰もが働きやすい職場づくりの一環として「メディアファイブ保育園薬院」の運営も行っており、地域貢献度の向上にも寄与しております。

主要事業であるSES事業は、ITエンジニアの需要が高まっていることを背景として、新規取引先の獲得及び既存取引先における契約単価交渉を行ってまいりました。

ソリューション事業は、前事業年度に引き続き、安定的にシステム開発案件を受注しております。引き続き、中小企業のITを支援する「OFFICE DOCTOR」サービスを軸にワンストップ型ソリューション提案を推し進めております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高1,344,529千円（前年同四半期は1,293,084千円）、売上総利益478,712千円（同465,338千円）、営業利益73,438千円（同28,349千円）、経常利益75,063千円（同63,377千円）、四半期純利益48,669千円（同55,904千円）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

#### ①SES事業

主要事業であるSES事業は、高度IT人材の育成、技術力向上に注力するとともに、取引先への契約単価交渉や戦略的な配置転換を行ってまいりました。その結果、当第3四半期累計期間における売上高は1,254,047千円（前年同四半期は1,136,944千円）、セグメント利益は337,869千円（同255,088千円）となりました。

#### ②ソリューション事業

ソリューション事業は、前事業年度に引き続き、中規模・小規模のシステム開発案件の受注、中小企業のITを支援する比較的ライトな「OFFICE DOCTOR」サービスの提供を安定的に行っております。また、今後の業容拡大を目指し営業活動に注力してまいりました。その結果、当第3四半期累計期間における売上高は90,481千円（同156,139千円）、セグメント利益は4,226千円（同41,550千円）となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

## 資産・負債・純資産の状況

## (資産)

当第3四半期会計期間末の資産合計は687,159千円(前事業年度末は700,239千円)、うち流動資産564,451千円(同569,122千円)、固定資産122,708千円(同131,117千円)となりました。

その主な内訳は、流動資産については現金及び預金372,688千円(同388,954千円)、売掛金160,189千円(同147,137千円)、前払費用9,637千円(同10,388千円)等です。固定資産については、有形固定資産24,038千円(同15,146千円)、無形固定資産12,738千円(同16,199千円)、保険積立金21,305千円(同21,305千円)、敷金及び保証金34,912千円(同36,048千円)、繰延税金資産19,761千円(同33,543千円)等です。

## (負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は269,786千円(同326,836千円)、うち流動負債196,226千円(同239,236千円)、固定負債73,560千円(同87,600千円)となりました。

その主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金18,720千円(同18,720千円)、未払金15,422千円(同13,805千円)、未払費用34,972千円(同120,853千円)、未払法人税等13,409千円(同6,590千円)、未払消費税等30,776千円(同26,852千円)、賞与引当金45,380千円(前事業年度末の計上なし)、預り金31,307千円(同32,196千円)等です。固定負債については、長期借入金73,560千円(同87,600千円)です。

## (純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は417,372千円(同373,403千円)となりました。

その主な内訳は、配当金4,700千円の支払による減少及び四半期純利益48,669千円の計上による増加であります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月期の業績予想につきましては、2026年1月8日付の「2026年5月期第2四半期(中間期)の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年5月31日)	当第3四半期会計期間 (2026年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	388,954	372,688
売掛金	147,137	160,189
契約資産	8,508	8,352
仕掛品	2,891	1,631
貯蔵品	261	235
未収入金	6,970	5,323
前払費用	10,388	9,637
その他	4,635	6,992
貸倒引当金	△625	△599
流動資産合計	569,122	564,451
固定資産		
有形固定資産	15,146	24,038
無形固定資産	16,199	12,738
投資その他の資産		
長期前払費用	1,996	2,034
保険積立金	21,305	21,305
敷金及び保証金	36,048	34,912
従業員に対する長期貸付金	862	1,903
繰延税金資産	33,543	19,761
その他	6,014	6,014
投資その他の資産合計	99,771	85,931
固定資産合計	131,117	122,708
資産合計	700,239	687,159
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,673	1,023
1年内返済予定の長期借入金	18,720	18,720
未払金	13,805	15,422
未払費用	120,853	34,972
未払法人税等	6,590	13,409
未払消費税等	26,852	30,776
賞与引当金	—	45,380
契約負債	14,479	4,126
預り金	32,196	31,307
その他	1,064	1,089
流動負債合計	239,236	196,226
固定負債		
長期借入金	87,600	73,560
固定負債合計	87,600	73,560
負債合計	326,836	269,786
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	198,925	198,925
資本剰余金	164,625	164,625
利益剰余金	18,676	62,646
自己株式	△8,823	△8,823
株主資本合計	373,403	417,372
純資産合計	373,403	417,372
負債純資産合計	700,239	687,159

## (2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)
売上高	1,293,084	1,344,529
売上原価	827,745	865,816
売上総利益	465,338	478,712
販売費及び一般管理費	436,989	405,273
営業利益	28,349	73,438
営業外収益		
受取利息	117	454
受取配当金	40,000	—
保育事業収益	41,739	37,882
雑収入	1,206	876
営業外収益合計	83,063	39,213
営業外費用		
支払利息	1,205	929
保育事業費用	41,427	36,659
地代家賃	5,402	—
営業外費用合計	48,035	37,589
経常利益	63,377	75,063
特別利益		
関係会社株式売却益	1,550	—
特別利益合計	1,550	—
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税引前四半期純利益	64,927	75,063
法人税、住民税及び事業税	865	12,611
法人税等調整額	8,158	13,782
法人税等合計	9,023	26,393
四半期純利益	55,904	48,669

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## I 前第3四半期累計期間(自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	SES事業	ソリューション事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,136,944	156,139	1,293,084
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,136,944	156,139	1,293,084
セグメント利益	255,088	41,550	296,639

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	296,639
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△268,289
四半期損益計算書の営業利益	28,349

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

連結子会社であった株式会社匠工房の全株式を譲渡したことに伴い、これまで「SES事業」「ソリューション事業」及び「工事関連事業」の3区分としていた報告セグメントは、当第3四半期会計期間より「SES事業」「ソリューション事業」の2区分に変更しております。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



## II 当第3四半期累計期間(自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	SES事業	ソリューション事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,254,047	90,481	1,344,529
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,254,047	90,481	1,344,529
セグメント利益	337,869	4,226	342,096

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	342,096
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△268,657
四半期損益計算書の営業利益	73,438

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)
減価償却費	5,338千円	7,506千円